

令和7年11月5日

「和歌 IN ヨーロッパ」コンサート開催のお知らせ

～日本文化と西洋音楽の融合を通じて地域文化振興に貢献～

香川大学地域・産官学連携戦略室 若井特命教授による研究・芸術活動の一環として英国の音楽家ティローン・ランダウ氏と企画し、「かがわ文化芸術祭 2025」および「瀬戸内国際芸術祭 2025 県内連携事業」参加公演として、「和歌 IN ヨーロッパ」コンサートを開催いたします。日本の伝統文学「和歌」が、ヨーロッパの音楽家たちによってどのように受容され、新たな芸術表現として生まれ変わったかを紹介すると共に、瀬戸内海地域を題材とした和歌の歌曲も取り上げます。また、和歌の読手として、香川大学の学生も出演します。地域文化の担い手としての香川大学の役割を広く知っていただく貴重な機会となります。

ぜひご取材いただき、報道を通じて多くの方々にご紹介いただけますようお願い申し上げます。

■開催日時: 令和7年11月9日(日)14:00～

■会場: 香川県文化会館・芸能ホール

■出演:

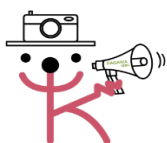
若井健司(テノール歌手、香川大学特命教授)、ティローン・ランダウ(英国テノール歌手、作曲家)、
水嶋 育(ソプラノ歌手、高松大学准教授)、杉ノ内柚樹(ソプラノ歌手、香川大学大学院修了)、
綾 智成(テノール歌手、東京芸術大学卒)、斎藤 愛(ソプラノ歌手、東京芸術大学卒)、
大山まゆみ(ピアニスト)、鈴木櫻子(和歌読手、香川大学学生)

【コンサートの背景と見どころ】

和歌とヨーロッパ人との出会いは、江戸時代初期にまで遡ります。カトリック宣教師たちは、日本文化への深い関心から、和歌をポルトガル語に翻訳し『日葡辞書』(1603年)に紹介しました。その後、鎖国政策により交流は途絶えましたが、19世紀後半の開国以降、パリ万博などを通じて日本文化がヨーロッパに再び紹介され、美術や工芸に続いて文学への関心も高まりました。

ヨーロッパの芸術家たちは、和歌の簡潔で深遠な表現に魅了され、自らの芸術作品に取り入れようと試みました。今回のコンサートでは、20世紀初頭の作曲家たち——ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチなど——が和歌を題材に創作した楽曲を中心に取り上げます。また、西行法師の瀬戸内海を詠んだ和歌をティローン氏が新たに作曲し、若井特命教授とともに披露いたします。

彼らがどのように『万葉集』『古今和歌集』『百人一首』などの古典文学を受け止め、音楽として再構築したのか。その響きとともに、日本の自然や心情を描いた一首が、香川の声楽家の協力を得て現代に新たな命を得る瞬間を、ぜひご体感ください。



取材申込はこちらから↓



➤ お問い合わせ先

香川大学地域・産学連携戦略室特命教授 若井健司

TEL:090-4507-5308 MAIL:wakai.kenji@kagawa-u.ac.jp

香川大学地域創生推進部 若井・石田

TEL:087-832-1503 MAIL:wakai.akiko@kagawa-u.ac.jp

日本文化と西洋音楽の融合

「和歌 IN ヨーロッパ」コンサート

2025 11月9日 日

〈開場〉13時30分 〈開演〉14時
〈会場〉香川県文化会館・芸能ホール



日本古来からの伝統文学の1つである和歌と西洋音楽が初めて接したであろう明治以降に着目し、当時のヨーロッパ人が「万葉集」「義経紀」「百人一首」などの有名和歌をどのように捉え、どのような音楽として表現したかを英国歌手と香川の歌手たちがご紹介いたします。

出演者

ティローン・ランダウ（英国テノール歌手、作曲家）
若井 健司（テノール歌手）
水嶋 育（ソプラノ歌手）
杉ノ内柚樹（ソプラノ歌手）
綾 智成（テノール歌手） 大山まゆみ（ピアニスト）
斎藤 愛（ソプラノ歌手） 鈴木 櫻子（和歌読手）

入場料

前売り	当日券
一般：2,000円	2,500円
学生：1,000円	1,500円

※瀬戸内国際芸術祭2025パスポート提示で
当日券500円割引

「和歌 IN ヨーロッパ」コンサート

日本古来からの伝統文学の1つである和歌と西洋音楽が初めて接したであろう明治以降に着目し、イギリスの音楽家ティローン・ランダウ氏が大英図書館等で収集した資料・楽譜をもとに「和歌INヨーロッパ」コンサートの企画をいたしました。当時のヨーロッパ人が和歌をどのように捉え、自国語に翻訳し、どのような音楽として表現したかをご紹介します。

日本文化の造詣が深く、日本での活動経験のあるティローン・ランダウ氏と香川の演奏家の共演により日本の文化がヨーロッパにどの様に伝わったか、また西洋音楽文化にどの様に影響したかを6人の歌手が演奏によって検証していきます。

曲目 大津皇子《万葉集》

「百伝ふ 磐余の池に 鳴く鴨を 今日のみ見てや 雲隠りなむ」ドミートリイ・ショスタコーヴィチ他 作曲

静御前《義経記》

「吉野山 峰の白雪 ふみわけて 入りにし人の 跡ぞ恋しき」フェリックス・ワインガルトナー他 作曲

小野小町《百人一首》

「花の色は 移りにけりな いたづらに わが身世にふる ながめせしまに」エルヴィン・レンドヴァイ他 作曲

山部赤人《万葉集》

「我が背子に 見せむ思ひし 梅の花 それとも見えず 雪の降れば」イーゴル・ストラヴィンスキー 作曲

西行法師《山家集》

「曇りなき 山にて海の 月みれば 島ぞ氷の 絶え間なりける」ティローン・ランダウ 作曲

他多数曲



ティローン・ランダウ 英国テノール歌手、作曲家

ヨーロッパ及びオーストラリアのオペラ・カンパニーで、モーツァルト、ロッシーニ、ドニゼッティなどの作品を歌う。主な登場演目は「セビリアの理髪師」、「フィガロの結婚」、「ドン・ジョバンニ」、「エフゲニー・オネーギン」、「魔笛」、「愛の妙薬」、「アルジェのイタリヤ女」など。近年のコンサート活動の場は主にアムテルダム（オランダ）、ベルゲン（ノルウェー）、メルボルン、ホバート（オーストラリア）など。現在はベルゲンのEdvard Grieg Korene(EGK)にてハウス・コンポーザーとしても活動中。



若井 健司 テノール歌手

東京藝術大学・大学院修了。在学中「甦る第九」（日本テレビ放送）にてデビュー。世界各地のオーケストラと共演する。数多くのオペラで主演、公演監督を務め2014年オペラ「扇の約」を制作し、2018年四国初の海外オペラ公演をブルガリアにて実現した。2024年、オペラ「扇の約」青葉の笛編を制作し、成功を収める。2000年グラーツ大学、ミュンヘンへ留学。高松市文化奨励賞、香川県文化芸術選奨受賞（音楽部門個人初）。2022年香川県文化功労者。現在、香川大学特命教授、四国二期会理事長。



水嶋 育 ソプラノ歌手

同志社女子大学、オーストラリア・グラーツ音楽大学、ドイツ・ミュンヘン音楽大学大学院卒。バイエルン州立歌劇場オペラ研究所を経て、ツヴィッカウ市立劇場にて専属歌手としての数年を過ごす。後、フリーの声楽家としてシュトゥットガルト州立歌劇場、東京新国立劇場、NHK音楽祭、ラコステ音楽祭、ハイデルベルク春音楽祭への出演をはじめ、ドイツを中心にヨーロッパ各地及び日本にて活躍。ウェバー・コンクール優勝（1993）、ミュンヘンのパージンガー・ファブリック劇場より名誉歌手の称号を受ける。高松大学発達科学部准教授。



杉ノ内柚樹 ソプラノ歌手

同志社女子大学芸学部音楽学科、同大学特別専修生、香川大学大学院教育学研究科修了。オペラでは「魔笛」/「バグナ」、「カルメン」/「ラス・キータ」、喜歌劇「こもりイータ」、「天国と地獄」/「キューピッド」などを演じる。2014年オペラ「扇の約〜ここからはじまる〜」建礼門院役、2024年オペラ「扇の約〜青葉の笛編〜」建礼門院役。[高松市市民文化祭アーツフェスタ]たかまつ2024「オープニング事業[高松ジェンヌコンサートwith宝塚OG]」企画出演。2025年も主催事業をプロデュース。歌人 柳原白蓮をテーマに台本を執筆、玉藻公園にて朗読劇を公演、好評を得る。西日本放送ラジオ「杉ノ内柚樹のミュージックさくら」パーソナリティーとして出演中。



綾 智成 テノール歌手

東京藝術大学声楽科卒業。第九ソリスト等多数コンサートに出演。これまで、「ルクセンブルク伯爵」ルネ役、「メリー・ウィドウ」にてダニロ役、「瀬戸内国際芸術祭2022/四国民話オペラ（二人奥方）」御殿医役、「瀬戸内国際芸術祭2025/オペラ「扇の約ダイジェスト版」平教経役、「扇の約」青葉の笛編にて平宗盛役を好演する。福井敬、若井健司各氏に師事。ニューオペラ香川メンバー。四国二期会正会員。



斎藤 愛 ソプラノ歌手

高松市出身。香川県立坂出高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。平成30年度、31年度エフテック奨学金奨学生。第9回サンポート高松デビューリサイタルに出演。これまでに声楽を本田芽佳子、中野勝美、大島洋子の各氏に師事。現在、香川県立坂出高等学校教諭。合唱部の顧問としても後進の指導にあたっている。



大山まゆみ ピアニスト

東京学芸大学教育学部D類音楽科器楽専攻卒業、同大学院終了。ピアノを田辺緑、平田小百合、伴奏法を米元えり、斎藤雅彦、チェンバロを岩淵恵美子の各氏に師事。アンサンブルピアニストとして四国二期会、香川フルート友の会等多数の団体、個人と共演し、常に高い評価を得ている。コレギウム・ムジクム高松、ラ・レゾナンスアンサンブル等で通奏低音奏者をつとめる。高松市美術館企画展にて、エントランスミニコンサートに携わる。2018年、高松市文化奨励賞受賞。現在香川短期大学非常勤講師。トリオルーナ、デュオ・レーヴメンバー。



鈴木 櫻子 和歌読手

香川大学法学部在学中。7歳から小倉百人一首読技かるたを始める。県内外の大会で数多くの入賞をする。現在は高松かるた会に所属し、2024年B級公認読手資格取得。

【コンサートへの経緯】

イギリスの音楽家ティローン・ランダウ氏と香川大学特命教授・若井健司氏は、日本の歴史文化と西洋音楽の関係に着目し、6年前から交流を深めてまいりました。2023年、西洋音楽と日本が初めて接したであろう「南蛮時代」に着目し、「南蛮の歌」コンサートの企画をしました。今回は、和歌と西洋音楽が初めて接したであろう明治以降に着目し、香川の音楽家、そしてティローン・ランダウ氏との共演により、ドイツ、ハンガリー、チェコ、ロシア、イギリスの和歌（重唱を含む）を紹介してまいります。